

全国的な体力低下傾向の中、紋別市の子どもは体力を維持 柔軟性に課題

令和3年4月～7月にかけて、全国体力・運動能力、運動習慣調査が小学校第5学年及び中学校第2学年の全児童・生徒を対象に実施されました。本調査は、小中学校それぞれ全8種目の実技調査に加え、家庭での生活・運動習慣に関する質問紙調査が行われました。

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、全国的に体力の低下傾向が見られる中、紋別市においては学校や地域、家庭のさまざまな取組により体力の維持・向上が図られ、一部の種目で全国平均を超えたり、質問紙調査では運動やスポーツに対する肯定的な回答が増えたりするなどの成果が見られています。

一方、質問紙調査では、「朝食の摂取」、「学習以外のスクリーンタイム」、「自己肯定感」に関して、全国学力・学習状況調査と同様に、課題のあることがわかっています。

以下、調査結果から見た紋別市の子どもたちの様子について、その概要をお知らせしますので、家庭・地域での教育や子育てにご活用いただければ幸いです。

■ 実技調査の結果(各種目、全国の平均値を50として、紋別市と全道の値を算出)

	小学校	中学校
男子		
	<p>○ほとんどの種目で全国並み、もしくは上回っている。全体的に運動能力が優れている。</p> <p>●長座体前屈が全国よりやや下回っており、柔軟性に課題がある。</p>	<p>○立ち幅とび、50m走で全国並み。跳躍能力と疾走能力が優れている。</p> <p>●長座体前屈、ハンドボール投げで全国との差が大きく、柔軟性と投球能力に課題がある。</p>
女子		
	<p>○握力、上体起こし、20m シャトルラン、立ち幅とびで全国並み。筋力と持久力が優れている。</p> <p>●長座体前屈、50m 走で全国との差が大きく、柔軟性と疾走能力にやや課題がある。</p>	<p>○長座体前屈、立ち幅とびで全道に近かった。柔軟性が優れている。</p> <p>●ほとんどの種目で全国との差が大きく、体力全般に課題がある。</p>

■ 生活・運動習慣に関する調査の結果

良かった点	改善が必要な点
<ul style="list-style-type: none"> ・運動やスポーツをすることが好きである。 ・自分にとって運動やスポーツは大切なものだ。 ・放課後や休みの日に運動やスポーツをする。 ・体育の授業は楽しい。 ・体育の授業で、自分の動きの質が向上している。 ・ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝食を毎日食べている。 ・平日に1日3時間以上テレビやゲーム機、スマートフォンやパソコン等の画面を見ている。 ・自分にはよいところがある。

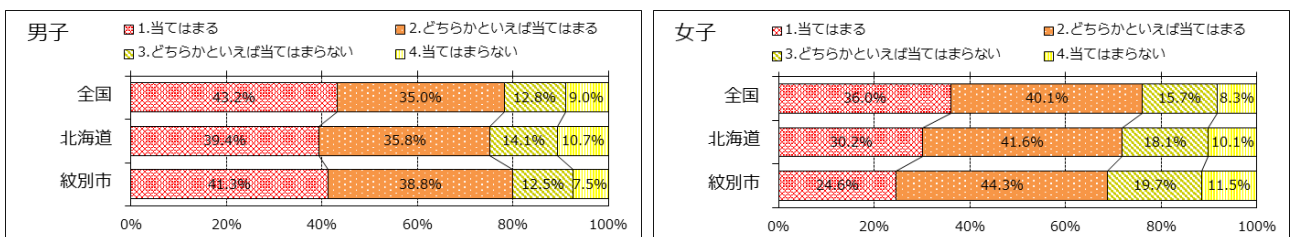
運動に対する意欲は向上 一方で朝食摂取・スクリーンタイム・自己肯定感に課題

小学校では、「体育の授業は楽しい、やや楽しい」と回答している児童が全国より多くみられました。また、「中学校でも運動やスポーツの時間をもちたい」と思う児童も多く、運動への意欲につながっていると考えられます。

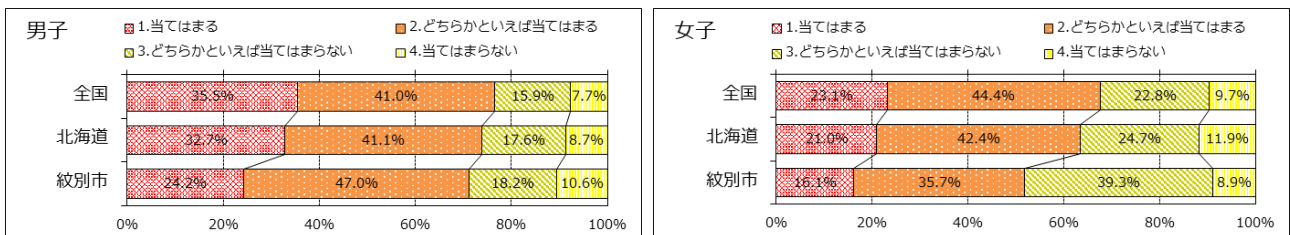
中学校では、「体育の授業で自分の動きの質が向上していることを実感する」と回答した生徒が全国より多くみられました。また、「ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある」と回答し、運動等とおして達成感を感じている生徒が多いものと思われる。

一方で、小中学校共通して、「朝食を毎日食べている」、「平日にテレビやゲーム機、スマートフォンやパソコン等の画面を見ている時間は1日3時間未満」、「自分にはよいところがある」と回答した児童・生徒が全国平均より少ない傾向が見られます。

小学校 「自分には良いところがあると思う」と回答した児童の割合



中学校 「自分には良いところがあると思う」と回答した生徒の割合



■ 紋別市の取組

紋別市では、保護者や地域の皆様と一体となって子どもたちの体力向上を推進するために、以下のような取組を行っています。各種スポーツ教室等も開催しておりますので、興味のある方はお子さんと一緒に参加してみてください。

- ・スポーツ振興課コーチ（北海道コンサドーレ札幌より派遣）による、体力の向上を図るための授業サポート及び教員向け研修会の実施
- ・体育専科教員活用事業による体育授業の充実
- ・「どさん子元気アップチャレンジ」を活用した縄跳び等、休み時間に取り組み運動の充実
- ・幼児・児童向け各種スポーツ教室の開催
- ・土曜日の市内高校生以下の体育施設使用料の減免